

名古屋市

令和7年度
インクルーシブな学校運営
モデル事業
中間成果報告会



本事業の目的

令和6年4月

若宮高等特別支援学校 開校

- ・既設の若宮商業高等学校と併設
- ・「交流しながら共に学ぶ教育」
- ・企業と連携した実践的なキャリア教育・職業教育



本事業の目的

目指す目標



- ・一過性・一時的な交流ではなく教育課程をリンクさせた日常的な交流及び共同学習（教科学習・学校行事）の実現
- ・一体的な学校運営を円滑に進めるための体制の構築とカリキュラムマネージャーの役割の研究

学校運営連携校



名古屋市立若宮高等特別支援学校（知的障害）

1学年5学級（40名）× 2学年 全校生徒80名

産業科

名古屋市立若宮商業高等学校

1学年4学級（160名）× 3学年 全校生徒464名

未来ビジネス科

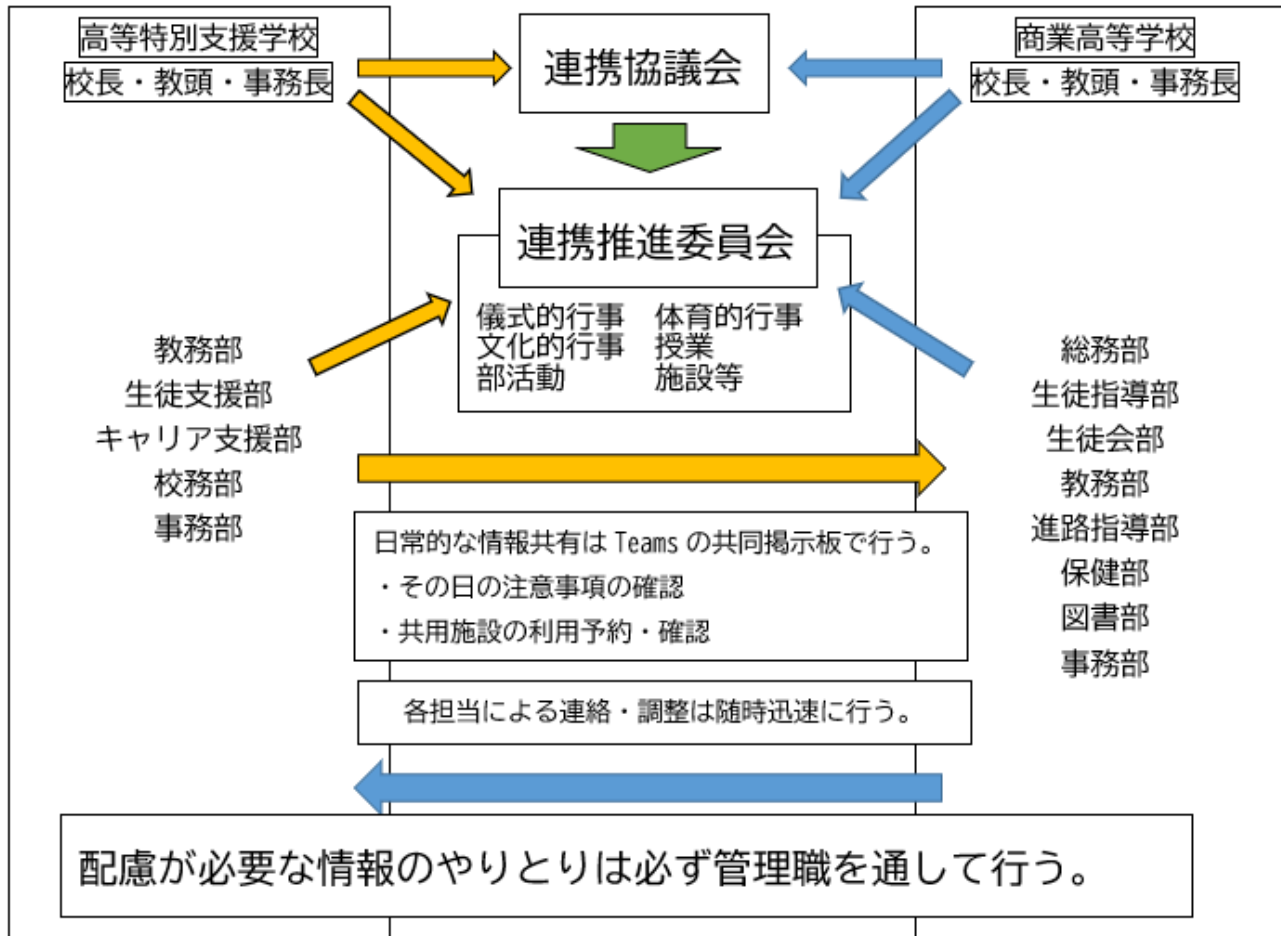
カリキュラム・マネージャー

元名古屋市立特別支援学校教頭

現名古屋市立高等学校非常勤講師（兼務）

- ・ 両校の教育課程の連携の企画
- ・ 連携推進委員会の司会・進行
- ・ 実務担当者間の調整

連携協議会・連携推進委員会



協議会

4月、12月、2月

推進委員会

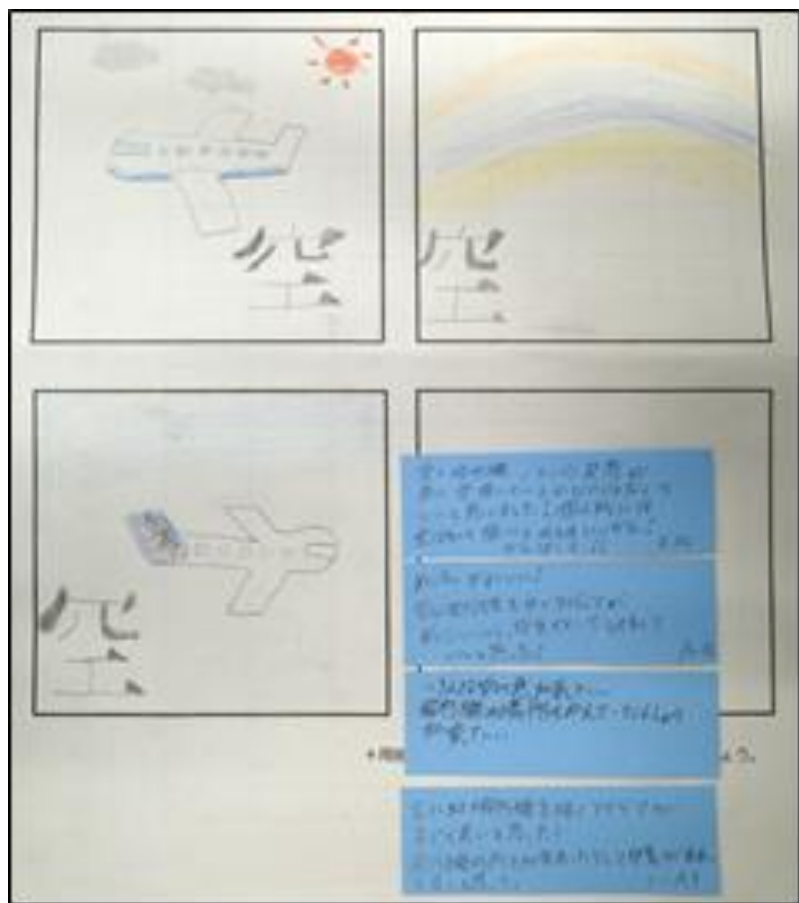
1～2か月に1回(計7回)

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方

美術（1年）

- ・ すべての授業を合同で実施
- ・ 商業の従来の教育課程をベースに微調整
- ・ 特支10名 + 商業40名
- ・ 特支教員2名 + 商業教員1名で指導

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方



交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方

美術（1年）

特支のUD化された授業 × 商業の専門的な授業

わかりやすい！

こうやってやればいいのか！

サブティー
チャーの充実

教育的効果

こんな発想があるのか！

どういう所を
頑張ったんだろう？

色々な作品を見ることができて
よかった！

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方

美術（1年）における課題

特支の適正人数 × 商業美術の専門性の追究

落ち着いた学習
環境による知
識・技能の定着

教育的効果

デザインキャリ
アにつながる発
展的な内容の取
扱い

両校の学校行事
の違いによる時
間数の不均衡

同質の教育課程の提供

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方

保健体育(2年)

バドミントン

ソフトボール

卓球・モルック

保健体育(1年)

ドッジビー

アルティメット

バドミントン

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方

保健体育（2年）

- ・ 2年1学期のすべての授業を合同で実施
- ・ 商業の従来の教育課程をベースに微調整
- ・ 特支20名＋商業80名が種目選択し4グループ編成
- ・ 各グループ特支教員1名＋商業教員1名で指導

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方

保健体育（1年）

- ・ 1学期・2学期の商業期末考査後の授業を合同で実施
- ・ 1学期：商業の従来の教育課程を微調整、2学期：冬季スポーツフェスタの種目
- ・ 特支20名＋商業80名が種目選択し4グループ編成
- ・ 各グループ特支教員1名＋商業教員1名で指導

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方

保健体育（1・2年）

特支の基本的な技能重視 × 高校のゲーム重視

運動が得意な人の
競争相手

こうやってやれ
ばいいのか！

商業の少ない男
子の競争相手

サブティー
チャーの充実

苦手な子でもで
きる工夫

授業の構造化

教育的効果

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい授業の在り方

保健体育（1・2年）

特支の基本的な技能重視 × 高校のゲーム重視

もっと思い切り
やりたい！

授業の重点目標
の相違

生徒指導の基準
の相違

教育的効果

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方



インスタ

特支プロジェクトチーム

「デザイナーズ・ルーチェ」

×

商業3年課題研究

「デジタルマーケティング」

昨年度の
取り組み

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方

特支2年職業専門コース

「フードコース」

×

商業2年会計キャリアコース

「原価計算」

現在検討中

交流及び共同学習を発展させた柔軟で新しい 授業の在り方

学校行事（合同で実施）

体育祭（6月）

文化祭（9月）

スポーツフェスタ
（冬12・春3月）

チーム若宮サポーターズフェスタ

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

美術（1年） 時間割編成の工夫

- ・ 商業4学級の美術を火～金に2時間連続で配置
- ・ 特支5学級を国語・数学の習熟度別4グループに再編成し、連続して火～金に配置

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

	月	火	水	木	金
1 限		商美D 特1美 23 4国 数			
2 限					
3 限			商美A 特2美 13 4国 数	商美C 特3美 12 4国 数	
4 限					
5 限					商美B 特4美 12 3国 数
6 限					

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

保健体育（2年） → 1学期のすべての授業を合同

- ・ 特支の国語を習熟度別の4グループに編成し、2グループずつを商業の体育に時間割をそろえる

保健体育（1年） → 学期末考査後の時間割変更

- ・ 特支の国語・数学の習熟度別の4グループのうち、2グループを商業の体育の時間に変更
- ・ 美術で交流しているグループで体育も実施
- ・ 時間割変更が前提となるため、体育を同じ曜日で配置する

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

	月	火			水			木			金		
1 限		商美 D	特1 美	234 国数				特体					
2 限													
3 限		商体 AB	特体 24	特国 13	商美 A	特2 美	13 4国 数	商美 C	特3 美	124 国数			
4 限		商体 CD	特体 13	特国 24									
5 限		特体						商体 CD	特体 13	特国 24	商美 B	特4 美	12 3国 数
6 限								商体 AB	特体 24	特国 13			

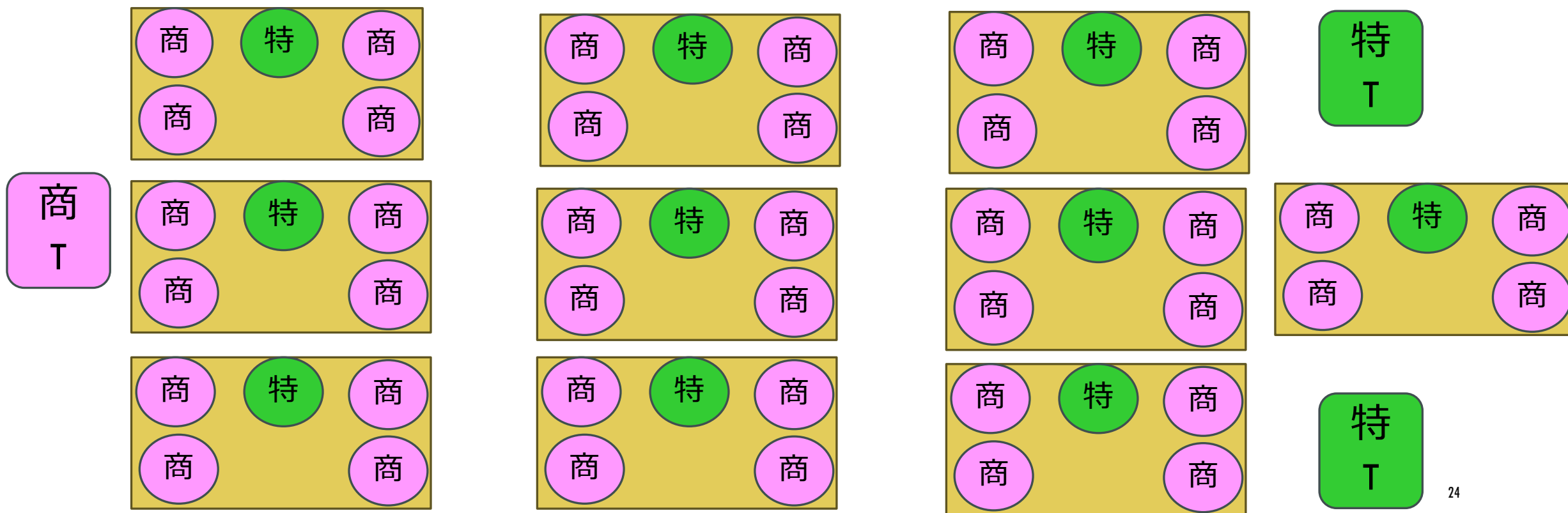
現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

美術（1年）

- ・ 特支10名 + 商業40名
 - ・ 特支教員2名 + 商業教員1名で指導
 - ・ すべての教員が高等学校美術科免許を所持
- 指導計画・評価計画については、両校で話し合ったうえで、それぞれの学校の担当が主体となって立案・実施する

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

美術（1年）



現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

保健体育（1・2年）

- ・ 特支20名＋商業80名が種目選択し4グループ編成
 - ・ 各グループ特支教員1名＋商業教員1名で指導
 - ・ 高等学校保健体育科免許を所持している教師がメインティーチャーを務める
- 指導計画・評価計画については、両校で話し合ったうえで、それぞれの学校の担当が主体となって立案・実施する

現行の教員配置にこだわらない専門性を高めた授業実施のための体制構築の在り方

- ・ 両校の課題に即した合同職員研修
- ・ AI学習会（全5回）
インクルーシブな授業計画をAI活用で実現
生徒の困り感や課題に対する生成AI活用など
- ・ デュアルシステム先進国（オランダ）視察
（3月）



成果

<合同授業> R6：美術 2 回、保健体育 1 回



R7：美術50回、保健体育 7 回（1 年）
保健体育 1 2 回（2 年）

<生徒の意識の変容>

併設に対する好意的な捉えの
生徒割合

R 7 の結果は、活動や関わる機会の増減により、結果は低下したが、生徒間の雰囲気はよく、併設を特別な環境として捉えていない生徒が多いとみている。

商業の 1 年生は、支援校の生徒への関心が高まったことがうかがえる。

R6	特支 1 年	商業 1 年	商業 2 年	商業 3 年
4 月	7 6 %	4 3 %	3 0 %	3 0 %
1 2 月	8 6 %	5 4 %	3 5 %	4 0 %

R7	特支 1 年	特支 2 年	商業 1 年	商業 2 ・ 3 年
4 月	7 3 %	8 6 %	1 9 %	4 5 %
1 2 月	5 8 %	7 3 %	3 0 %	3 9 %

課題

合同授業の量的充実

- ・ 関わり合いの増加
- ・ 思い通りにいかない経験
- ・ 苦手なコミュニケーション

→ インクルーシブな社会体験